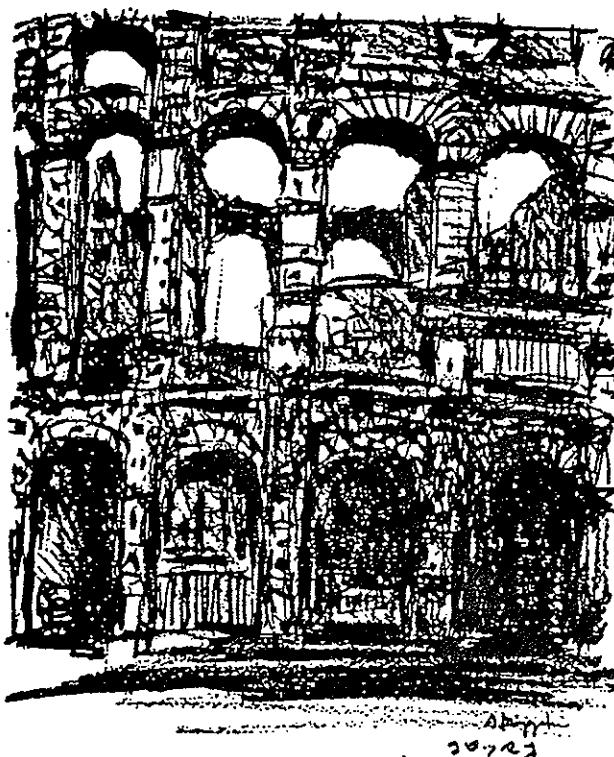


卒業記念号

とじて保存して下さい



「つたえる大切なこと」

學校長 宮崎淳

このスケッチは、古代ローマ、
「コロッセオ」で、ローマ市内い
たる所にこうした遺跡があり、世
界中から大勢の観光客が訪れてい
ます。ここでは、遺跡と市民生活
が共存しており、遺跡を後世に伝
えていくため、多くの費用と長い
年月をかけて修復がなされていま
す。国をあげて文化の伝承にとり
組んでいる姿に改めて感動してき
ました。

やりの心が乏しいといわれます。ふるさとには暖かい心、親しみの心が生き続けています。生まれ育った土を懐かしく思うのは、自分が小さな頃から体験してきたことが心の中にきちんと残っているからです。

皆さんは今、一つの節目を終えます。学んだこと、体験したこと、心の糧として、次の世代に伝えていける人間になつてほしいと思います。

ところで、皆さんの育った羽津の町は、万古焼の盛んな町です。万古は地域に育ち生きつづけてきた伝統の生活用具です。お茶を飲み語り合う中から、暖かいなごやかな雰囲気が自然にかもしだされる生活であったことでしょう。今、世の中は合理化が進み、核家族とか無関心とかいわれ、思



「つたえる大切なこと」

節目 おめでとう卒業生

10 8 6 4 3 2 1

「老松に見守られた
校庭で」

節 目

教頭先生 山川 太門

羽津小学校には、すばらしい松の木がそびえ立っています。しかし、この大きな松の木も、元はほんの小さな一芽でした。



し て が の

平成1年3月16日

平成1年3月16日

し て が の

(3)

飯沼 麻子
鈴木 英子

心の貧しい人って、どんな人か
わかるかな。時には考えてみてく
ださい。

齋藤 庄子
鈴木 茜子

豊かな心と健康な体をもち、た
くましく生きる中学生になつてく
ださい。

鳥井 康子
松本 智子

中学生、という時期が、もしか
すると一番成長するときかもしれ
ません。充実した毎日を !!

町の中で昨年の卒業生と会う。
その時にこつと笑つてあいさつ
がとびこむ。すてきな中学生にな
つた喜びに心が洗われるおもいだ。
自分目標にむかって、まっすぐ
に進んでいきましょう。うしろ
をふりかえらずに!!

鈴木 和夫

自分で知り、先を見通し、よく
考え行動する。そんな姿勢で何事
にも取り組んでほしい。

苦しみ、悩みと、自分で自分を
はげまそう。負けるな新一年生 !

したくとも、してはいけないこ
と、したくなくても、しなくては
ならないことの区別をつけよう。

卒業おめでとう。 谷口 快爾

どこか一つ、キラリと光る自分
らしさの持てる人になつて下さい。

卒業おめでとう。 時村 孝子

心身共に健やかな中学生になつて
下さい。

卒業生おめでとう

祝 福 の 言 葉



市川 晴美
前田 多寿子

自分が知り、自分を生かして、
素晴らしい中学生活を送つてくだ
さい。

宇佐 美好孝
黒田 義彦

物事に対して自分から積極的に
取り組もう。そうすれば、必ず光
が見えてくる。中学でもがんばだ。

松田 悅代
藤田 千香子

昨日より今日、今日より明日へ
と、一步一步、未来に向つて前進
して下さい。

立松 和紘
大矢知弥代

卒業。それは、新しい出発です。
夢と希望を持ち、自分の可能性を
信じて、前進しましよう。

宇佐 美好孝
黒田 義彦

「小さな勇気」をたくさん持と
う。そうすれば、いざという時
「大きな勇気」になるでしょう。

片山 寿恵子
松田 悅代

昨日より今日、今日より明日へ
と、一步一步、未来に向つて前進
して下さい。

どんな時でも、優しい気持ちを
持って人に接しましょう。けれど、
自分には厳しくありたいですね。



6 年 1 組 八

卒業おめでとう。中学校では、学習、クラブに力いっぱい、自分の力を出し切って活動して下さい。また友達の和を大切にし、中学生活を楽しく送って下さい。

担任 杉 田 仁 司

先生方いろいろとおられて 本業大木	六年間過ぎのが今思うと 早かりたな。少しあみいです。 伊藤 美子	六年間どうもありがとうございました 片山 弘子	この六年間お世話をありがとうございました 高橋友紀
----------------------	--	----------------------------	------------------------------



中学生になつてもワンパン。パンでよくなるも、乗用車で車転がしてキレ今までおさわになりました林良作

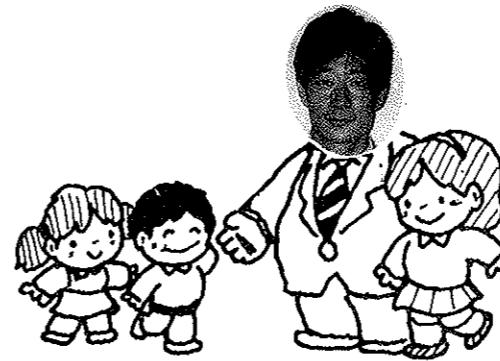


ワンペラボと並んで、六年間の相談に出でた。木村武司

お世話になりました先生方ありがとうございました。
奥山由香理



羽津小学校、ありがとう。	渡辺 圭
<p>長い間お世話になりました ありがとうございました。 近藤辰彦</p> <p>楽しかった学校生活ありがとうございました。 山本長洋</p> <p>六年間の学校生活ありがとうございました。 鈴木一成</p> <p>転校してきて短い間だけと どうもありましたが、 七勝井圭光</p>	



羽津小学校の思い出を大切にし中学校がんばります先生方ありますとうございました。・森 美恵

伝統ある羽津小学校よ。
樂しく思い出いぱんだいたる年間
どうもありがとう、中学校行こう
も忘めません。 新井研二

中井晃子

さあ、行けよ行けのやうな
二ふらもよろしくね。

腹部脇房



中学校に行つてまだんはりたいと思ひます。三輪倫子

六年間いろいろありがとうございました。中学校へ行つたからになります。東 利恵

六年間お世話をなった先生が月 中学校もかんなります。

前田万実子

羽津小学校での六年分の想い出を大切にしてしまます。

日本 美樹

小学ちどりたくさんの想い出を たれず中学校へ行つても がんばりたいです。あがどう



中学校に行つても六年間の恩恵は忘れませんがんばります。ありがとうございました。
森裕子
筆しきました。
中学校についてもわすれぬ
筆しきました。
羽津小学校での六年間は
もうと忘れません。さよなら
山上　いすみ



○生徒が主役。 伊藤雄紀	日本清之	堀川英平	道上宇吉 高木正巳	羽津小学校の先生へ よつねん さくじつなら羽津小学校 卒業記念	樂しい六年間どうもあり がとうございまーん。
-----------------	------	------	--------------	--	---------------------------

ありがとう六年間の思い出 水谷聰	楽しかった六年二組 小井祥賓	ナニマラナニマラ六年二組へ 鈴木友和
---------------------	-------------------	-----------------------

6年2組へ

卒業おめでとうございます。羽津小学校での思い出を大切にして、大きな夢をもって中学校でもがんばってください。

担任 大橋 和弘

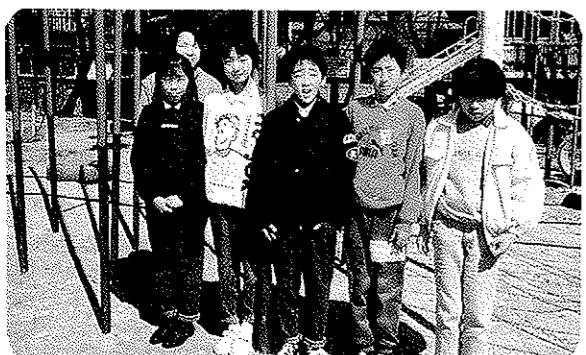


中学校へ行こうがんばろう!! 伊原正敏	さよなら六年二組 高野恭介
さよなら六年一組 大川泰輔	さよなら六年二組 高野恭介
さよなら六年一組 大川泰輔	さよなら六年二組 高野恭介
さよなら六年一組 高野恭介	さよなら六年二組 高野恭介

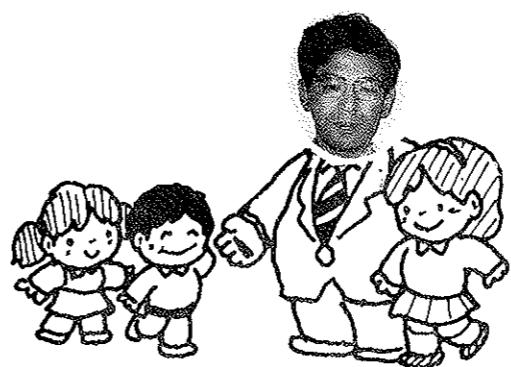
中学校に行こうがんばろう。 三輪見子	将来のやめをめざして がんばろう。
-----------------------	----------------------



さよなら六年二組 戸村さやり	中学生になつても一生けんめい がんばろう。 高橋史枝
また会う日まで さよなら。 松山恵	これからも勉強に運動に がんばります。 木村奈津枝
中学生になつても一生けんめい がんばろう。 高橋史枝	お世話には、た先生方、六年間 どうもありがとうございました。 木村奈津枝



中学校に行こうがんばろう。 諸戸希久代	これからも元気によ がんばろっ。 新井章子
たくさんの思い出を あります。 田中いづみ	中学校になつても勉強に がんばります。 小川真紀
笑ってさよならしよう。 松永直美	六年二組は永遠に 不滅です！



さよなら六年二組 杉山真也	いつも明るい羽津小学校 さようなら田永匡
------------------	-------------------------

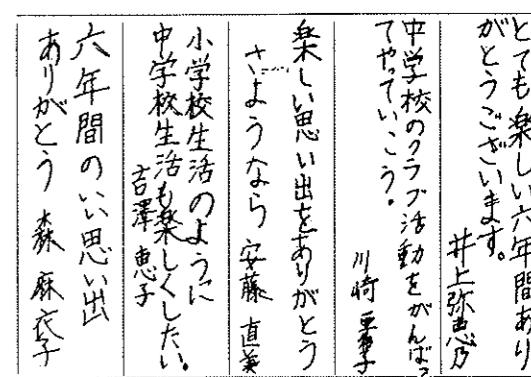
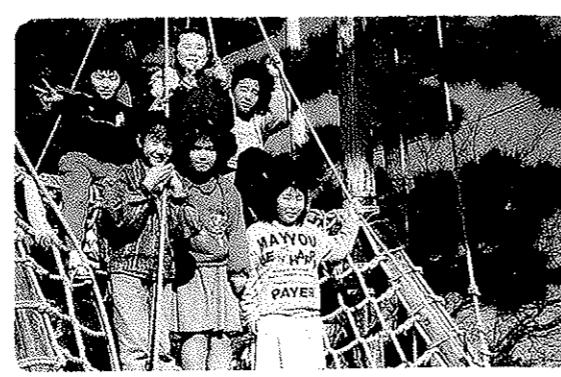
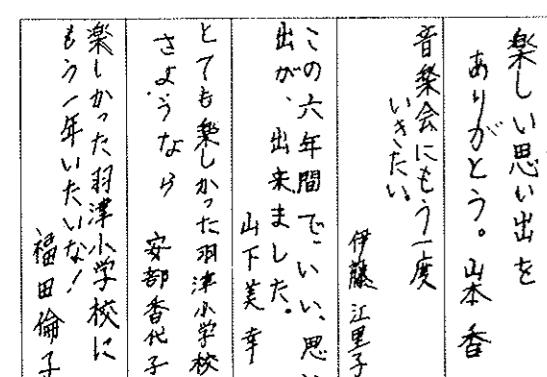
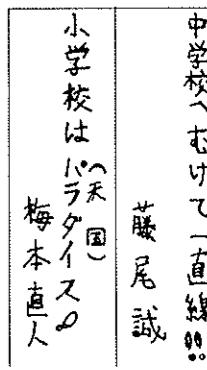
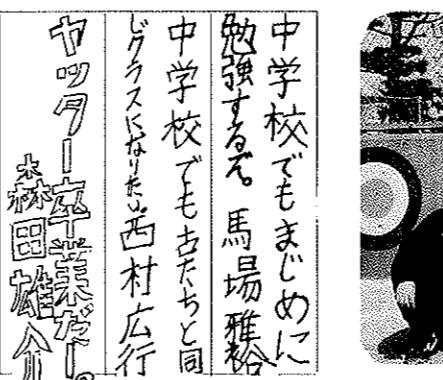
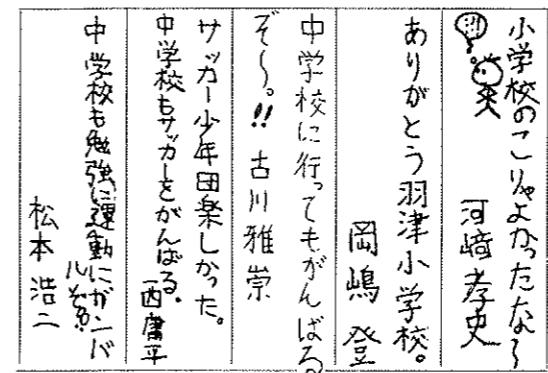
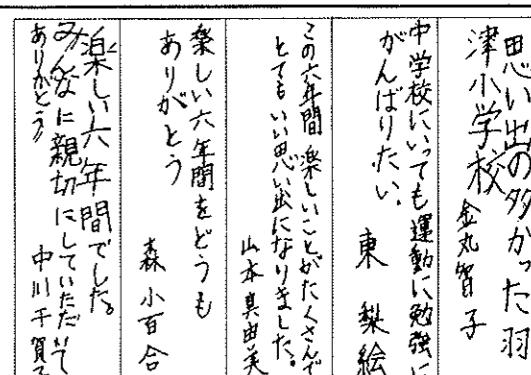
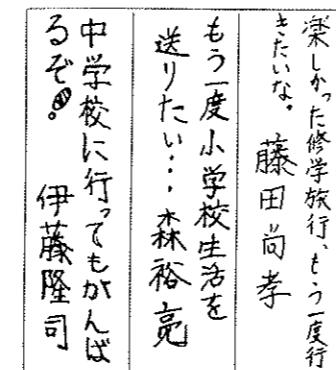
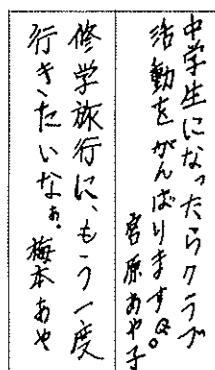
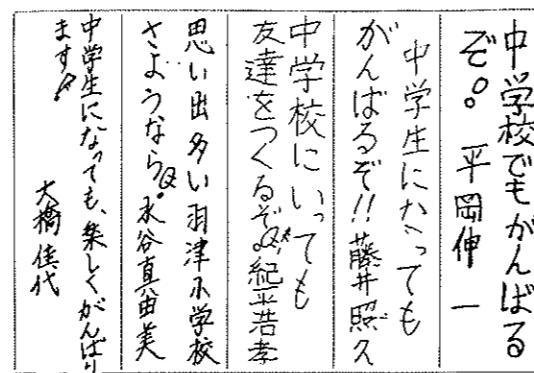
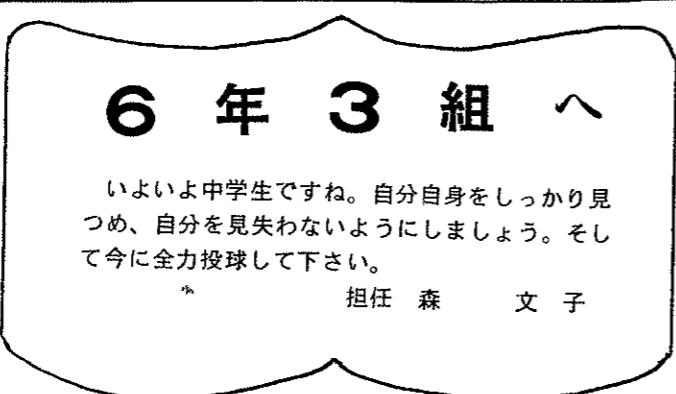
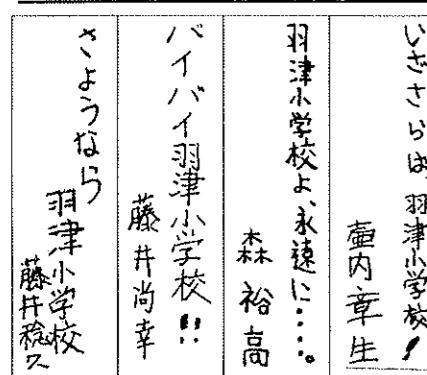


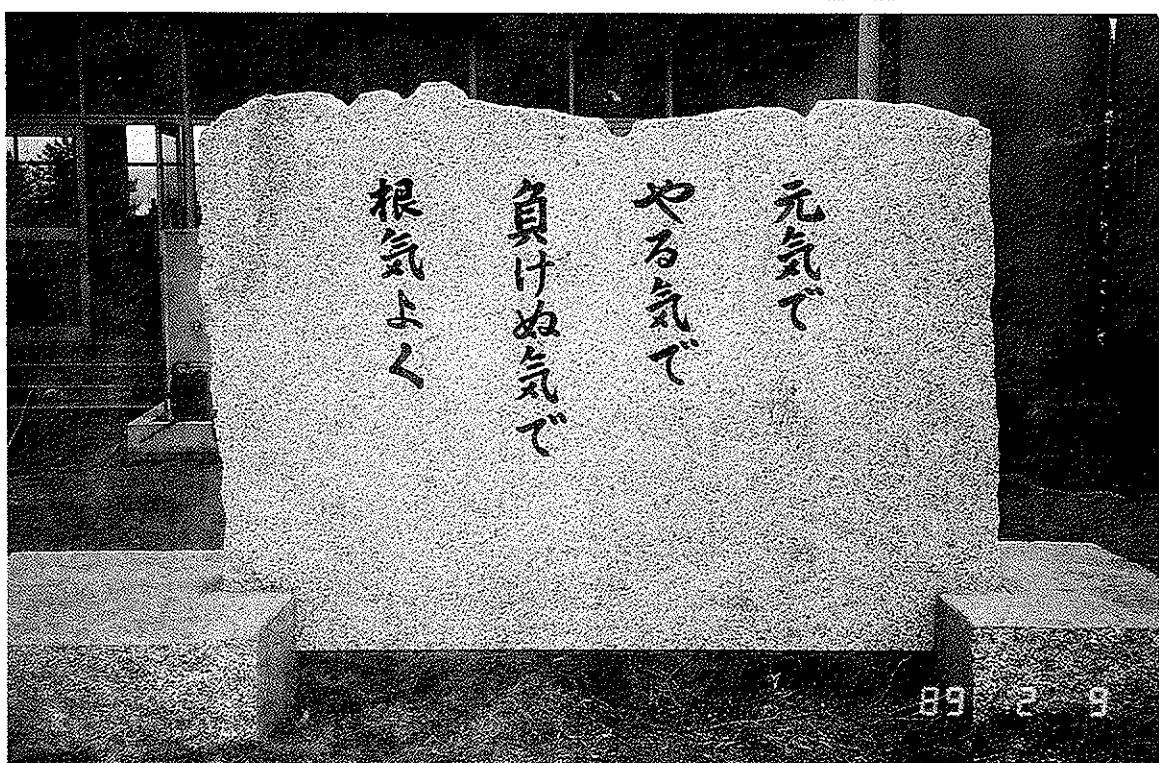
さよなら六年二組 前田寛	さよなら六年二組 前田寛
さよなら六年二組 藤井伸忠	さよなら六年二組 前田寛
さよなら六年二組 伊東由俊	さよなら六年二組 前田寛

みんなさようなら 麻井謙次	この六年間とても楽 しかった。向山園節
------------------	------------------------



中学校になつても勉強に がんばります。 米村真紀	中学校に行こうがんばろう。 三輪京美
六年二組は永遠に 不滅です！	中学校になつても勉強に がんばります。 小川真紀
これからも元気によ がんばろっ。 新井章子	これからも元気によ がんばろっ。 新井章子





四つの氣

羽津中学校長

木下 武一

私の教師生活がら、多くの卒業生を送ったなかで、生徒が希望を持って高校や実社会へ巢立つていながら、卒業して三年の間に、高校へ入ればよいという安易な気持で進んだ生徒の中退やせつかく就職しても人間関係や仕事の内容で職場になじめなく会社をやめた……といった具合の子供によく出くわします。奇しくも羽津中創立当時の校訓に示す「元気で、やる気で、負けぬ気で、根気よく」やつていて目標のように、気力や自立心や根気の無さからくる中退や転職などが実際に多いのに驚かされます。

このことは、いろんな原因が重なり一言では言い切れないが、児童期、小学生、中・高生の年齢に応じたバランスのとれた心が育てられていないことが、随分、起因していると思います。

自立できない子供は逆に言えば親自身が子供から子離れできないままにいるのです。子供を甘やかし、子供の要求通りに応える過保護の姿勢、親が出来なかった事を子に託する過度の期待からくる親子関係の屈折など、子供自身に責任のない部分が多くあります。

自立できない子供は逆に言えば親自身が子供から子離れできないままにいるのです。子供を甘やかし、子供の要求通りに応える過保護の姿勢、親が出来なかった事を子に託する過度の期待からくる親子関係の屈折など、子供自身に責

生を送ったなかで、生徒が希望を持って高校や実社会へ巢立つていながら、卒業して三年の間に、高校へ入ればよいという安易な気持で進んだ生徒の中退やせつかく就職しても人間関係や仕事の内容で職場になじめなく会社をやめた……といった具合の子供によく出くわします。奇しくも羽津中創立当時の校訓に示す「元気で、やる気で、負けぬ気で、根気よく」やつていて目標のように、気力や自立心や根気の無さからくる中退や転職などが実際に多いのに驚かされます。

「母の心は、いつも子の上にあります」この真言はよく理解できますが、母が子を思う愛情だけでは、子は強く、正しく育ちません。いつもでも親の傘に入れないので、風雨にあてる時期が来れば、その成長段階に応じて、子供が自ら考えるチャンスと厳しい体験を多く与えてやることが眞の愛情ではないかと考えています。お母さんたちがんばって下さい。

